

# 入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校  
校長 樋口 佳洋  
平成 29 年 10 月 30 日  
第 15 号

## 新姫の収穫を体験

10月18日(水)、熊野市ふるさと振興公社のご厚意により、新姫の収穫体験をさせていただきました。今年も地域連携活動で熊野に来ている相模女子大学の皆さんといっしょです。この週は1週間のほぼずっと雨でしたが、収穫するこの日の午前中だけ雨が上がるといった、奇跡的な幸運に恵まれ、無事収穫体験をすることができました。きっと、子どもたちの普段の行いを神様が見てくれていたのでしょうね。

熊野の特産品の一つである新姫。これまでふるさと公社の皆さんが大切に育ててきた新姫をはさみでていねいに切りながら一つ一つ収穫していきます。畑では柑橘系独特のいい香りがし、それだけで、新姫の雰囲気をも充分味わうことができました。

丸山千枚田の田植えや稲刈り、新姫の収穫体験などの活動を通して子どもたちが、将来、ふるさと熊野や紀和のために大きな役を担う大人に育つことを心から願っています。

なお、この日の様子をテレビ局や新聞社が取材に来ており、ニュースや新聞でその様子が報道されていたのをご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。私は見る事ができず、とても残念でした。



## 11月の予定

- 3日(金)文化の日：紀和ふるさと祭り
- 10日(金)児童会・委員会、ALT
- 11日(土)入鹿中文化祭(午後、音楽発表で参加)
- 12日(日)熊野市民健康スポーツ祭
- 17日(金)クラブ活動、ALT、スクールカウンセラー来校
- 18日(土)土曜授業
- 21日(火)児童集会
- 23日(木)勤労感謝の日
- 24日(金)午後授業なし(13時30分下校)
- 28日(火)焼いも大会(5・6限)

## 日本とブラジルの文化・習慣のちがい その2

### 1. こんな日は仕事などしている場合ではない!

ブラジルと聞いて連想されるものの一つにサッカーがありますね。私がブラジルに赴任した年は、日韓ワールドカップサッカーが開催された年でした。その年、ブラジルは通算5回目のワールドカップ優勝を成し遂げたのですが、決勝に至るまでには何試合かをしなければなりませんね。ワールドカップはオリンピックよりも盛り上がる大会ですからブラジル人が熱狂するのは当たり前です。日本との時差は12時間。日本で夜7時キックオフなら、ブラジルでは朝7時キックオフです。7時というとちょうど出勤が始まる頃なのですが、そんな大事な試合ですから、気にならない訳がありません。そこで、決勝のみならず、ブラジル代表の試合がある時は試合が終わるまで、街は動きを止めるのです。つまり、ほとんどのところが仕事も休みになるのです。なので、試合中の街中は閑散としたものです。さすがサッカー王国ブラジルですね。もちろん勝った後、お祭り騒ぎになるのは言うまでもありません

### 2. ブラジルのコーヒーの味は

ブラジルと聞いて連想されるもうひとつのものはコーヒーかもしれませんね。コーヒー豆の生産量は世界第1位ですから。スーパーマーケットでは売り場に電気式のポットが置いてあり、お客さんは無料で飲むことができるようになっています。私もコーヒーが好きですから当然飲みました。ところが、そのコーヒーの味は「あま〜い」です。ブラジル人は砂糖をたっぷり入れたコーヒーが大好きなのです。その裏側には、良質のコーヒー豆はそのほとんどが輸出されてしまい、国内で消費されるのはそれほど品質が良くないもの、という事情があるそうです。ところが、「住めば都」か「郷に入っては、郷に従え」か、普段はブラックコーヒーを飲んでいる私も砂糖たっぷりのコーヒーもおいしく感じてくるのです。スーパーでしか飲めないという珍しさがあるのかもしれませんが、日に日においしく感じるようになってきたのは今でも不思議です。

### 3. くしゃみのあとのひとこと

「ハクション」。近くで誰かがくしゃみをすると、ブラジル人は「サウージ」と言います。それに対し、くしゃみをした人は「オブリガード(ダ)」と返します。[saude(サウージ)]は直訳すると「健康」や「乾杯」にあたる言葉ですが、この場合の意味は「お大事に」という感じです。なので、それに対して「obrigado(オブリガード)」は以前も紹介した「ありがとう」の意味ですから、「心配してくれてありがとう」となるわけです。英語圏ではくしゃみをした人が「Excuse me.」とか「Sorry.」とか「ごめんなさい」の意味の言葉を使うようですが、ブラジルのように、本人が言うのではなく周りの人が「お大事に」という方が、気遣いを感じられるし、その気遣いに「ありがとう」と返す心配り……。日本語にもこのような習慣があるといいなと思うのは私だけでしょうか。